|  |  |
| --- | --- |
|  | 平成３０年  ７月１２日号  編集・発行　　校長 |
| 高鷲中学校  ０７２－９５５－４４８８ |

地震、そして豪雨

6月18日午前7時58分、突然の強い揺れを感じました。私は学校にいたのですが、思わず阪神淡路大地震のことを思い出すほどの強い揺れでした。校内に破損箇所が無いか確認し、登校してくる生徒たちに怪我が無いかをまず心配しましたが、幸いなことに大きな被害や怪我も無く、一旦は安心しました。

しかし、その後のテレビのニュースを見ると、

大阪府北部は大きな被害を受けており、中でも

学校に登校中の小学生が、学校の倒壊した

ブロック塀の下敷きになって命を失った事故に

関しては、大きな衝撃を受けました。本校でも

学校のブロック塀にひび割れや傾きが無いか、

すぐに点検をしましたが、今後、大規模な東南海

沖地震などが予想されている中、老朽化した

ブロック塀の補修や取替えは大きな課題だと感じます。

そして、7月6日から7日にかけて、西日本各地を記録的な豪雨が襲いました。大阪府にも大雨警報が発令され、皆さんも不安な夜を過ごされたことだと思います。しかし、テレビのニュースで広島県、岡山県、愛媛県などの被災地の状況が報道されると、その被害の大きさに言葉を失います。



台風なら進路予想を見て、ある程度の準備や備えを誰でも

すると思うのですが、梅雨前線に伴う雨が、ここまでの雨量に

なるとは予想も出来ないことでした。土砂崩れ、河川の氾濫等、

甚大な被害が発生し、7月11日の時点で死者が158名に達して

います。まだ多くの行方不明者がいるので、さらに被害は拡大

することでしょう。ここ数年、毎年のようにゲリラ豪雨、集中

豪雨による被害が各地で起こっています。石川、東除川などが

ある羽曳野市も、これらの被害は他人事では無いと思わざるを

得ません。

これから8月、9月は台風が多発する時期です。昨年10月の台風21号では関西地方でも土砂崩れなどが相次ぎ、大阪府でも2名の死者が出たのは記憶に新しいです。どうか、各ご家庭におきましても、台風への十分な備えをしていただきまして、少しでも被害を少なくするようにしてほしいと願っています。

では、台風や豪雨への備えとして、どのようなことが必要なのでしょうか。気象庁のHPから抜粋したものを書いておきますので、ぜひご一読いただき、参考にしていただけばありがたいです。

## 家の外の備え

・窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。  
・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。  
・風で飛ばされそうな物は飛ばないよう固定したり、家の中へ格納する。

## 家の中の備え

・非常用品の確認  
　懐中電灯、携帯用ラジオ（乾電池）、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コン

　　ロ、貴重品など

・室内からの安全対策  
　飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテ

ンやブラインドをおろしておく。  
・水の確保  
　断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

## 避難場所の確認など

・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。  
・普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。

**ハザードマップを入手する**

・ハザードマップを入手し、洪水の恐れがある河川、水害や土砂災害の可能性がある地域

　の確認をしておく。ハザードマップは市役所で入手できます。